

- 消込に時間が掛かる会社、または、財務と経理が分かれているような会社では、取り込んだ振込金を一度仮受金に計上し、業務部・経理部による売掛(ならびに請求入金予定)明細との個別消込を行う都度、仮受金を取り崩していく方式を採用しましょう。これにより月次決算を迅速化すると同時に、未消込金額を勘定残高として管理することが可能となります。
- 一旦仮受金に計上する方式が手間と感じられる場合は、直接入金伝票に取り込みましょう。いずれも入金消込は、売上傳票の商品明細レベルでも、売上傳票のヘッダレベルでも可能ですので、入金違算がどのレベルで発生するのか得意先毎に指定し、迅速な入金消込処理を行うことが出来ます。
- 満期処理は販売管理システムの与信管理と連動しています。

各種入金違算取引に対応

- Plaza-i の入金伝票入力、既に説明した基本となる個別消込の他、振込手数料差引入金、売上割引、カード回収、買掛金相殺、半金半手入金、過剰入金翌月廻し、一部入金、などあらゆる違算取引、特殊入金取引に対応しています。
- こうした取引の処理方法は弊社公認会計士が中心となって執筆した **ARS 債権管理システム** のユーザーズガイドに詳しく説明されていますので、安心して入金処理を行うことが出来ます。

売掛金確認状対応

- 指定した得意先に対し、確認状とコントロールシートを印刷することが可能です。
- 複数の得意先を集計し、また、確認状送付先を指定することが出来ます。

前受対応・外貨対応の売掛金管理

- 一つの得意先に、複数の通貨、売掛・前受が混在していても問題ありません。
- 外貨建て債権に関し、月末レート等による基準通貨への換算を自動的に実行します。
- 為替予約システムと連動し、予約レートで入金処理することが出来ます。
- 基本会計帳票として試算表勘定残高と照合可能な、前月残、当月売上、当月入金、その他振替取引、当月残を得意先別に一覧表示した、売掛金(前受金含む)残高一覧表を出力可能です。
- 入金伝票承認時に個別消込を行っていますので、上記の残高に常に合致した、残高明細書(伝票明細または伝票レベル)並びに年齢調べ表を、過去月でも、いつでも正確に出力することが出来ます。

受取手形オプション

- 受取手形オプションを採用すれば、債権管理システムのメニューに受取手形メニューが登場し、受取手形の登録、期日管理、台帳管理が可能となります。